

2020/12/1

(うと Q 世話し ビックリ。全く違う 180 度の差 )

えっ、今日からもう 12 月？ はやっ!!

それはさておき

以前の記事で

「この国が住み辛いので他の国に移住する事を考えている」

というパキ姉ちゃん一家のお話をしました。

その時思ったのが、外国の人は、自分の国が住みにくかったらよその国へ、そのよその国 A に実際行ってみて、そこも住み辛かったら他の国 B へと、いとも容易く (たやすく)、住む国すら変えて移動するものなのだなあという事でした。結構驚きでした。

というのも我々の感覚では生まれた国から離れるというのは相当なる一大事であるはずなのに、その母国すら自分がしたい、なりたい、住みたい、の条件の下に、あっさりと置いて取捨選択してしまっていたからです。

話は替わって、ここ一週間程の internet 記事からですが、今 corona 禍で、中学生の将来希望職種が「公務員志向」(安定志向)になったという記事と同時に、大学生の将来希望職種の内、その記事の title の言葉を借りれば「さらば大企業。安定を捨てる才能たち。自分流で起業」なのだそうで、どうやら我が国では安定志向と risk-take 志向の 2 極化が始まりかけているようです。

この 2 事案を見て思ったのが、世の中には二通りのタイプの人間がいるなあという事でした。

方や自分を規定している「属性」から入る人と、自分を規定している「属性」は脇に置いて「自分の意思」から入る人の二通り。

例えば前者の人は「自分は何々国国民である」「何々大卒である」「何々検 1 級である」等の属性 (持ち駒) から入って行って自分 (自分の意思決定) に辿り着き、後者の人は「自分はこれがしたい」がまずあって、その意思の下で上記のような属性 (必要になる駒) を考えるか、その属性 (駒) それ自体がなければ新たに創ってしまう人と。

それを上述の話に当て嵌めなおしてみますと

前者は「自分はこれとこの資格を持っているから、これをする」とか「自分は何々人なのでこの国にいる」なのに対して後者は「これをしたいからこれとこの資格をこれから取るか、それに匹敵する know-how を編み出そう」とか「これをしたいから今度はこの国に行ってみるか」の違いでしょうか。

何に「属する (箱、入れ物)」かが第一の人と「何をする (中身)」かが第一の人。

来る迄待っている人と、こちらから出かけていく人。

殆ど 180 度の違い。

この差はデカイ。

なので、この差の行き着く先を想像すると

可成の「ビックリ」で御座います。